

介護福祉実務科

訓練実施施設名	鹿光学習センター		
訓練コース番号	5-07-01-002-05-0617	訓練種別	() 基礎コース・(O) 実践コース
受講者募集期間	令和7年5月1日 (木) ~ 令和7年5月28日 (水)		

訓練内容

訓練概要		高齢者介護を軸とした実務者研修に必要な介護の知識・技術の習得に加えて、障害者外出支援の知識と技術を学ぶ。また、介護報酬請求事務で介護保険制度の概要と給付明細、業務で必要となるパソコン操作の基礎を学ぶ。11/11・11/12・11/21・12/3・12/15は5時間授業となります。	
	科目	科目の内容	訓練時間
学 科	就職支援	職務経歴書の作成、履歴書の作成、面接の心得とテクニック	18
	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、各国の介護と福祉の制度、障害者総合支援制度、介護実践に関する諸制度	30
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けて介護の考え方、介護福祉士の倫理	10
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職員の安全衛生	20
	コミュニケーション技術	コミュニケーションの基本的理解、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	21
	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ、介護技術の評価	20
	介護過程Ⅱ	ケアマネジメント介護過程、介護過程の展開、介護職による介護過程の実践、介護職同士のチームケア	4
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴うことからの変化	10
	発達と老化の理解Ⅱ	老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	20
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴と支援の基本	10
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実践	20
	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念	10
	障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障がい者（児）への支援の実践	20
	こころとからだのしくみⅠ	介護に関連したからだの仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）	24
	医療的ケア	安全な療養生活、生活維持と感染予防、高齢者及び障害者の「たん吸引」「経管栄養」、人間の尊厳と医療の倫理、医療・介護関連法規とチーム医療	50
	介護報酬請求事務	介護保険制度の概要、介護報酬、給付管理業務、介護給付明細書の作成	30
	同行援護一般課程	視覚障がい者（児）の福祉サービスと同行援護の制度、障害・疾病の理解①、心理の理解①、情報支援と情報提供、代筆・代読の基礎知識	10
	同行援護応用課程	サービス提供責任者の業務、様々な利用者への対応、個別支援計画と他機関との連携、業務上のリスクマネジメント、従業者研修の実施、同行援護の実務上の注意点	6
	全身性ガイドヘルパー	障害者総合支援制度と障害福祉サービス、移動介護の制度と業務、居宅介護概論、職業倫理、重度肢体不自由者（児）における障害の理解と心理、車いす及び装具等の理解、姿勢保持、コミュニケーション、事故防止	12
実 技	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、ボディメカニズムの活用、介護技術の基本、環境整備・福祉用具活用、ターミナルケア	24
	生活支援技術Ⅱ	利用者の身体に合わせた介護、環境整備、福祉用具活用等の視点（食事、排泄・尿失禁、移動、歩行、睡眠、夜間の介護、入浴・清潔、衣服の介護）	30
	介護過程Ⅱ	介護計画立案-Ⅰ、介護計画立案-Ⅱ、介護計画の見直し	21
	介護過程Ⅲ	情報収集の過程、居宅ケアプラン作成、事例検討①②③④、介護技術の評価	45
	こころとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、高齢者に多い病気とからだのしくみ（身だしなみ、移動、食事、入浴・清潔、排泄、睡眠、終末期の介護）の理解	60
	医療的ケア演習	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引・経管栄養の実施手順とシミュレータ装置による演習、救急蘇生法演習	30
	同行援護一般課程演習	挨拶、基本姿勢、歩行、曲がる、狭い場所の通過、椅子への誘導、環境に応じた歩行、段差、さまざまな階段とドア、エレベーター、エスカレーター、車の乗降、食事、トイレ、車いす利用の視覚障がい者への対応、場面別基本技能（窓口やカウンター、買い物、天候別の対応、金銭・カードの取り扱い、公共交通における移動支援の実践）	18
	全身性ガイドヘルパー演習	抱きかかえ方及び移乗の方法、車椅子の移動介助、生活行為の介助、外出演習	5
	コンピュータ演習	Windows11の起動と終了、基本操作（アプリケーションソフト、タスクバー、エクスプローラー、コントロールパネル、フォルダ、インターネット等）、Word2019の基本操作と日本語入力システム・文書作成、Excel2019の基本操作と表作成・計算式の基礎演習	18
	その他	企業実習の有無	有り

訓練対象者の条件	特になし		
訓練目標 (仕上がり像)	在宅介護を重視し、幅広い知識と視野を持ち介護サービスを総合的に考え提供できる人材を育成する。また、介護保険法を対象とした高齢者介護、障害者総合支援法を対象とした障がい者介護の両分野に介護技術者として就職することを目指す。		
訓練期間	令和7年6月16日 (月) ~ 令和7年12月15日 (月)		
訓練時間	9 時 00 分 ~ 16 時 30 分		放課後、就職支援等を実施する場合があります。 詳しくは、当校までお問い合わせください。
定員	20名 (受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります)		
自己負担額 (内訳も記載)	教科書代 14,300 円 その他 (企業実習健康診断料) 1,100 円 ※企業実習の実施を4日予定しており、これに係る交通費が別途発生します。 同行援護・全身性ガイドヘルパー外出演習を3日予定しており、交通費が発生します。		受講料は無料です。 金額は税込です。

求職者支援訓練申込方法	①ハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要書類とともに、住所を管轄するハローワークに本人が募集期間内に申し込み手続きをしてください。 ②本人がハローワークで受付された受講申込書を「ハローワーク受付後の受講申込書提出先」へ持参または郵送により、ご提出ください。
ハローワーク受付後の受講申込書提出先	宛先：鹿光学習センター 住所：〒060-0005 札幌市中央区北5条西14丁目1-42 TEL番号：（011） 261 - 5060 / 受付時間：（8：00～17：00 土日祝日休み） 問い合わせ担当者名：（中村・小林） E-mail：info@medical-hokkaido.jp

PRポイント

(就職支援の内容、過去に実施した求職者支援訓練の実績等)

♪鹿光学習センターの訓練は、魅力がいっぱい♪

確かな技術を持ち、介護職を知り抜いた講師陣
障がい者支援の資格も取得できるので、就職の幅が広がります

就職支援に力を入れています
履歴書の書き方から自己アピールの方法、面接を勝ち抜く方法を学びます

職場見学等が充実した訓練コースであるため、企業実習4日間の中で介護職員の仕事を理解できます
自分に合う働き方や施設形態を見つけましょう

修了後に取得できる資格

名称	介護福祉士実務者研修	認定機関	鹿光学習センター		任意受験
名称	同行介護従業者養成研修一般課程	認定機関	鹿光学習センター		任意受験
名称	同行介護従業者養成研修応用課程	認定機関	鹿光学習センター		任意受験
名称	全身性障害者移動介護従業者養成研修	認定機関	鹿光学習センター		任意受験
名称	介護報酬請求事務技能試験	認定機関	日本医療事務協会	✓	任意受験

選考日時	令和7年6月3日 (火)	最寄駅から選考場所までの地図	
持ち物	筆記用具、上履きと外靴を入れる袋		
選考結果通知日	令和7年6月6日 (金)		
選考方法	面接 筆記試験		
選考会場の住所	〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西14丁目1番42号		
最寄駅	JR桑園駅から南へ徒歩8分 地下鉄西11丁目駅・西18丁目駅から徒歩15分	駐車場の有無	☒ 無し ☐ 有り (有りの場合、台 円)

訓練実施機関名	有限会社 鹿光学習センター	訓練コース説明会等 有・無	【日 程】 <u>コース説明会</u>		
訓練実施施設名	鹿光学習センター		令和7年5月2日(金)、5月9日(金)、 5月16日(金)、5月23日(金)		
訓練実施施設の住所	〒060-0005 北海道札幌市中央区北五条西14丁目1番42号		いずれも 13時 30分 ~ 14時 30分 ※ 事前予約が必要です。		
TEL番号 (お問い合わせ先)	011-261-5060	最寄駅 から の 地 図	上記地図参照		
お問い合わせ担当者 (受付時間)	中 村・小 林 (8 : 00 ~ 17 : 00 土日祝日休み)				
最寄駅	JR桑園駅から南へ徒歩8分 地下鉄西11丁目駅・西18丁目駅から徒歩15分				
		駐車場の有無	☒ 無し ☐ 有り	(有りの場合、 台 円)	
職業訓練受講給付金	一定の要件を満たした場合、職業訓練受講給付金(受講手当：月額10万円、通所手当)が支給されます。 詳しくは、住所を管轄するハローワークの担当窓口にお尋ねください。		※感染防止対策のために講じている内容 ・ マスク＆フェイスシールド着用 ・ 可能な限り間隔を空けた座席配置 ・ 手洗い場に石鹸の常備 ・ 教室内に消毒液を設置 ・ こまめな換気 ・ 感染症対策の掲示		
※教科書代等について、訓練開始前に就職等の理由により辞退された場合、当該教科書代等を負担いただく場合があります。					
※10月6日～10月9日（4日間）の企業実習期間中は、訓練施設内における訓練時間とは異なる場合があります。					
※介護福祉士実務者研修の資格取得に必要な学科を欠席した場合は、有料にてレポート評価（1時間当たり500円）を受けることで資格を取得でき、同じく実技を欠席した場合は、訓練終了後に有料にて補講（1時間当たり3,000円）を受けることで資格を取得できます。					
※11/11・11/12・11/21・12/3・12/15は5時間授業となります。					